



次代につながる選ばれる街へ

# REPORT 2014▶▶ 2022



## 学生も企業も住民も！地域のみんなで作る、草薙のまちづくり



みんなで作ろう

選んでよかったと思えるこの街を



たくさんの挑戦と応援が生まれ笑顔溢れた草薙のまち。

じいじも ばあばも こども達も この町では誰もがいきいき

# Kusanagi City



静岡県静岡市清水区 有度・草薙地区  
一般社団法人 草薙カルテッド



# 活動地域の特徴、まちづくりの課題

・人口約 70 万人を擁する政令指定都市・静岡では都市計画マスタープランにおいて「集約連携型都市構造」を掲げており、草薙駅周辺地区は地域拠点に位置づけられている。

- ・静岡市立地適正化計画において「教育文化拠点」に位置付けられている。
- ・草薙駅は、JR 東海道線と静岡鉄道の2つの駅が近接。
- ・エリアの南側にある商店街を抜けると日本平へと向かう丘陵地に閑静な住宅街が広がっている。日本武尊伝説で有名な草薙神社、県立大学や県立美術館、県立中央図書館など文教機能が集約しているのが特徴
- ・駅の北側は高度経済成長期以降、工業エリアとしての土地利用が進み、地銀の雄・静岡銀行の本部が位置するなど、市の経済発展を下支えしてきたエリアでもある。

- ・2010 年以降、JR草薙駅の駅舎橋上化に伴う各種公共整備が実施。
- ・民間事業では、草薙駅南口地区第一種市街地再開発事業や静岡銀行本部棟の個別建替え、工場移転に伴う大規模土地利用転換等が、次々に進む。
- ・「街がきれいになる/街が便利になる」といった期待感がある一方、街としての一体感の欠如や「つくって終わりの駅周辺」となることが懸念されていた。



## まちづくり活動の経緯

- ▶2014 年 静岡市は街の課題や将来像の検討・共有をはかり地域主体のまちづくりを進めるべく、有識者(工学院大学・遠藤新教授)を座長に、地域のステークホルダーからなるまちづくりのプラットフォーム「草薙駅周辺まちづくり 検討会議」を設置。
- ▶最も大きな役割は「人的ネットワーク」の基盤となったこと。この検討会議を大きなエンジンとして、議論やコミュニケーション、そして人の交流が活発化し、「つくって終わりにしない」ための動きが大きく前進する。
- ▶同年7月には、地域有志・地元自治会・商店会・行政・学生が一体となり草薙駅前の道路を封鎖した「つながるくさなぎ夏フェス」が初開催。8000人の来場を記録する。以降毎年夏と冬に実施される定番イベントとなる。

草薙駅周辺  
まちづくり検討会議  
設置  
つながるくさなぎ  
夏フェス 開催

2014

草薙駅周辺  
まちづくりビジョン  
制定

2015

草薙駅南口

景観デザインブック  
作成

2016

JR草薙駅  
橋上駅舎化  
完了  
南北自由通路  
開通

草薙カルテッド  
設立

2017

都市再生推進法人  
指定

2018

都市利便増進協定  
締結

2019

草薙駅  
南口イベント広場  
完成  
常葉大学  
草薙キャンパス開校

コラボレーション  
スペース「Takt」  
運営開始

2021

まちづくりの理念

## 次代につながる選ばれる街

～草薙駅周辺に住む人、来る人、みんなが主役～

草薙カルテッドの活動の理念となる、草薙駅周辺まちづくりビジョンにおいて「次代につながる選ばれる街」をまちづくりが理念として設定されており、下記4つの方針を掲げている。

### 緑につつまれながら

～緑と暮らす街～

- 緑を活かした景観づくり
- 憩いと魅力を生む緑の場づくり
- 健康とレクリエーションを生み出す環境づくり



### ほっとする

～「安心・安全」の街～

- 安心できる災害に強いまちづくり
- みんなで守る犯罪の無いまちづくり
- 暮らしを支える安全・安心ネットワークづくり



### 知を創造する

～「文教」の街～

- 教育・文化が身近に感じる環境づくり
- 歴史継承と魅力発信づくり
- 芸術が息づき、刺激にあふれる環境づくり



### コミュニティを、未来へ

～「にぎわい」のある街～

- 立ち寄りたくなる商業空間づくり
- 気軽に憩い集い交流を育むみんなの居場所づくり
- 暮らしやすい地域サービス環境づくり



## R4年度 まちづくり活動の内容

【賑わい事業】	【文化教育事業】	【安心安全事業】	【プロジェクト連携事業】
<ul style="list-style-type: none"> <li>■28の広場イベントの開催支援を実施</li> <li>■毎週4～5のキッチンカー業者への広場貸し出しを実施</li> <li>■草薙の魅力向上に資する内容という方針を設定し17箇所の広告掲出を管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地区の歴史や文化を身近に親しむ「謎解きウォーク」を実施</li> <li>■市内の教育機関への協力として、計8校の小中高大にて講話やディスカッションを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■北口芝生広場に防犯カメラ付き自動販売機を運営 売り上げの一部を防犯カメラの維持費に充当</li> <li>■台風15号による断水時、JR草薙駅北口・南口広場に給水所の設置や無料循環式屋外シャワーを設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■多様なステークホルダーがお互いに連携する事業を促進、R4年度には19の新しい連携事業が実施された。</li> <li>■コラボレーションスペース Taktに集まる様々なステークホルダー同士の交流の中から生まれる事業</li> </ul>

- ▶まちづくりビジョンにおいて、ビジョンを実現させる実行組織として「エリアマネジメント組織」の必要性が示された。
- ▶草薙駅周辺に関わるすべての人が将来の草薙駅周辺に対する“目標と想い”を共有しながら草薙駅周辺のまちづくりを進めていくための手引き「草薙駅周辺まちづくりビジョン」(2015)、良好な景観形成への指針「景観デザインブック」(2016)を作成
- ▶2017年2月に商店会と連合自治会が中心となり一般社団法人草薙カルテッドを設立。
- ▶2018年に静岡市より都市再生推進法人の指定を受ける。
- ▶2019年 草薙駅南口イベント広場及び北口芝生広場における都市利便増進協定を静岡市と締結。2021年には自由通路広告板を協定に追加し、管理運営を開始する。
- ▶2021年JR草薙駅前にコラボレーションスペース「Takt」オープン。以降、さまざまな関係者の連携事業が活発になる。

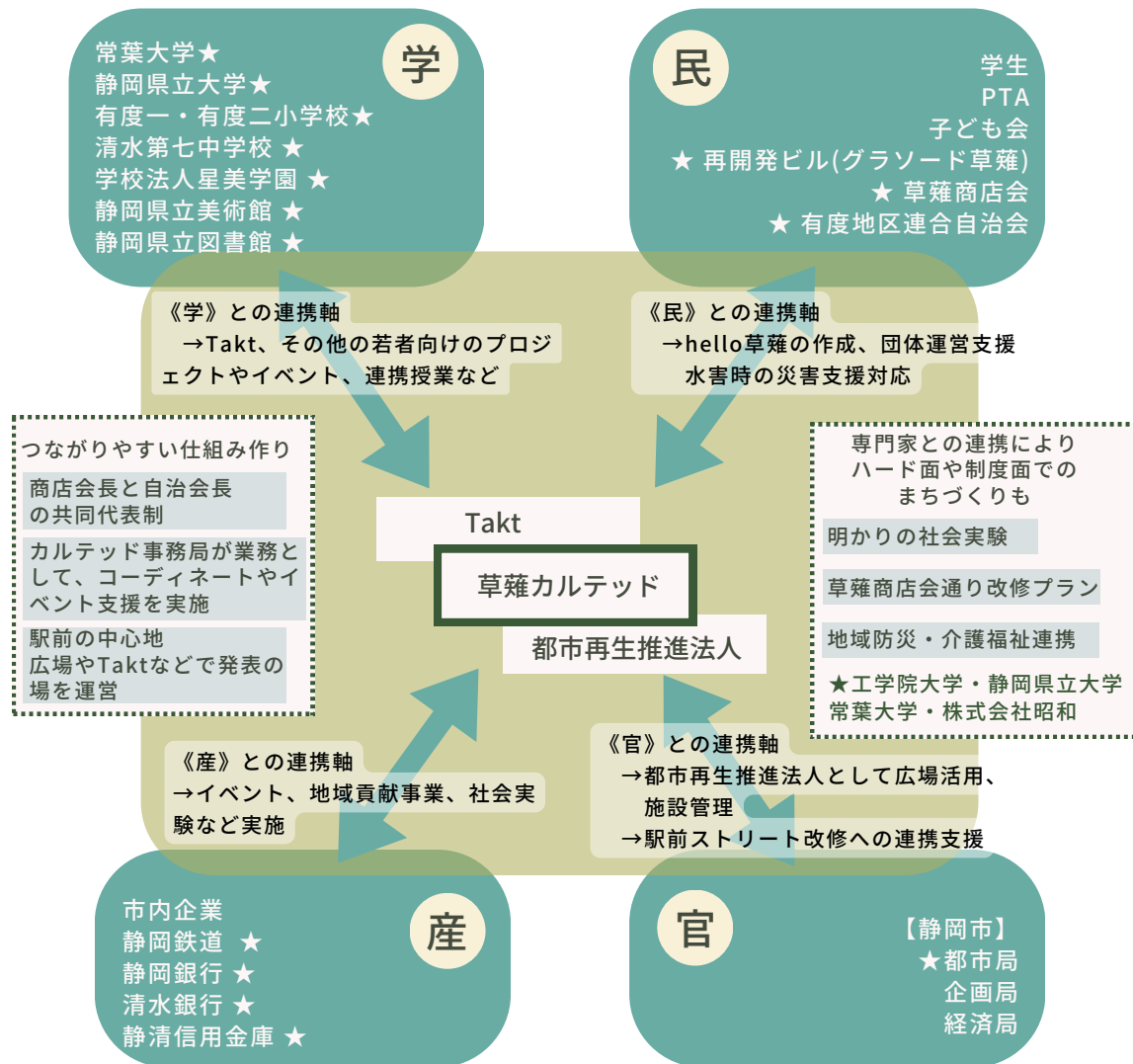
# 組織構成 活動主体について

企業(団体)会員 41	個人会員 89	学生会員 151
地域の関係団体・企業 検討会議メンバー 商店会会員店舗など	自治会の役員の方々や、PTA、 学校関係者、商店会役員、行政 職員、周辺施設の職員など	近隣2大学のほか、遠方の大 学からの参加もある 近隣の高校生なども

組織の立ち上げは、自治会と商店会の役員が中心となったが、活動を続けていく中で様々な属性の賛助会員と協力して事業を実施していく形になっていった。

## 草薙カルテッドとステークホルダーの関係図

草薙カルテッドはさまざまな活動軸を持ち、各種ステークホルダーとの関係性を保ちつつ事業運営している。



## 活動の特色

### 1. 連携維持に向けた取り組み

商店会の役員（元会長現副会長）と連合自治会長の2名が共同で代表を担っているため、持続的な連携を維持することが可能となっている。行政サイドとは毎週打ち合わせの時間を設定し、常にお互いの方向性を確認している。関係者間で足並みを整え、エリアマネジメント組織の透明性を高めることを重視している。

### 2. ソフト面ハード面の両面からのまちづくり

静岡市が進めている、JR草薙駅南口ロータリーから始まり静鉄草薙駅を通過し南幹線へと至る草薙商店会のメインストリートの改修についても各種関係者の連携や会議運営を支援している。

### 3. 収益源の多様化

広告事業や収益事業なども推進し、まちづくりに還元する資金の安定確保を目指す。

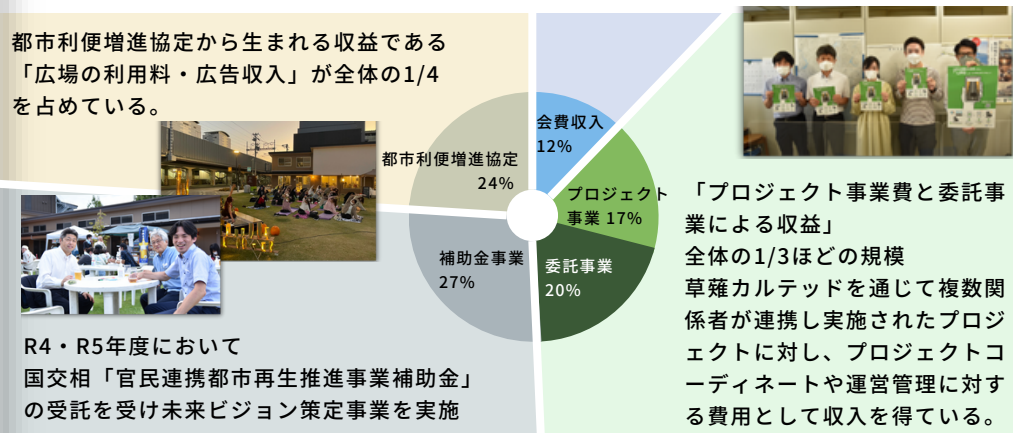
### 4. 若手人材・育児世代の活躍

大学生の頃に関わっていた関係者が、社会人になったのちに、改めて事業の一部を担うような運営モデルに取り組み、次世代のまちづくりの担い手育成と人材確保に力を入れている。また、育児の都合でフルタイム勤務が難しい人材にも活躍いただける環境を整えることに注力している。

## まちづくり活動の財源、収益について

様々な事業収入をバランスよく取り入れ、継続的にまちづくり活動が行えるように事業を実施している。

都市利便増進協定から生まれる収益である「広場の利用料・広告収入」が全体の1/4を占めている。



R4・R5年度において  
国交相「官民連携都市再生推進事業補助金」の受託を受け未来ビジョン策定事業を実施

## 今後の展開について

- ① これからの10年後を見据えた「まちづくりビジョン」の構築  
駅周辺再開発に取り掛かっていた10年前とは、地域の環境や課題が変化しているため、これから先の状況を見据えた「まちづくりビジョン」再構築を地域主導で実施
- ② 自律分散型・プロジェクト制への組織体制の移行  
まちで活躍してくれる「人財」の興味や関心をベースにし柔軟な活動ができるよう、事業運営のシステム設計を見直し、より多彩なプロジェクトが生まれる草薙へ
- ③ 有度地区・静岡市全体への波及  
プロジェクトや文化発信の中心地である草薙駅前からより広範囲の地域へまちづくりの効果が広がっていくことを目指し、企画やイベント支援などを実施



# まちづくり活動の成果、地域への貢献

JR草薙駅周辺再開発 関連事業

## 作って終わりにならない。更なる進化を遂げる草薙のまちづくり

2014

2023

2033

駅周辺再開発を契機に始まった、草薙のまちづくりは草薙カルテッドを中心に引き継がれ、ハード面ソフト面ともに時代に合わせて進化し続けている。



### KUSANAGI

#### まちなかオープンテラス

「3区」の発展と「新しい生活様式」による賑わいづくりと、これらが実現できるまちづくり

#### JR草薙駅南口メインストリートオープンテラスを始めます！

新型コロナウイルス感染症に係る生活様式として、道路に飲食店のテラスやイスを設置する。「道路占用許可」の発給が開始されました！この発給開始を契機として、一般社団法人草薙カルテッドは、草薙駅南口メインストリートにおいて、「3区」を担うまちづくりのための路上活用として、「KUSANAGI まちなかオープンテラス」を始めます！3区を担ってオープンテラスでの飲食や買い物を楽しみましょう！

◀草薙駅周辺の再開発事業完了後、南口エリアのメインストリートの改修工事を目標に、社会実験や研究会を実施。



▲メインストリートの改修へ向け記念動画をまちのみんなで作りました

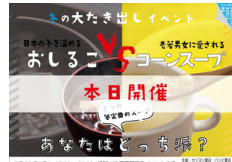
10年後の草薙を見据えまちづくりビジョンのリニューアルに着手▼



都市利便増進協定 関連事業

## 草薙ブランド発信の中心地としてより魅力的な地区へ

様々な事業者・団体により駅前広場を活用した草薙の魅力的なイベントが、次々と実施住民、企業、学生を問わず多くの人々の関心を惹きつける地域になっている。



12月 広場案内		11.30更新	
12/1	12/2	12/3	12/4
12/5	12/6	12/7	12/8
12/9	12/10	12/11	12/12
12/13	12/14	12/15	12/16
12/17	12/18	12/19	12/20
12/21	12/22	12/23	12/24
12/25	12/26	12/27	12/28
12/29	12/30	12/31	



### 台風被害 各地で助け合い



静岡新聞 9.28

### 台風被害対応 官民で全力



静岡新聞 9.29

## 学生も企業も住民も！じいじも、ばあばも、こども達も。誰もが活躍できるまち「草薙」 様々なプロジェクトが、そして多くの笑顔が、今日も生まれている



小学生×大学生×地元企業

### 「宇宙食を作りたい夢を応援」

地域の小学校に通う小学生の「宇宙食を作って実際に採用されたい」という夢に共感した、大学生6人と社会人3名がクルーとなり「チームゆら」として活動を行う。



大学生×高校×地元企業

### 「学生による音楽フェスの開催」

大学のサークルが中心となり、高校の部活動や地元のキッチンカーを誘致して、音楽フェスを開催。



大学生×高校生×地元企業

### 「地方創生がテーマのイベント」

地方創生に取り組む人材を作っていくため国保ゼミの学生と連携し、ワークショップや交流会を実施しました。延べ100名近い方にご参加いただきました。



大学生×地元企業×市役所

### 「駅前に温泉を持ってくる挑戦」

地域を盛り上げたいと考えた大学生が駅前に足湯をもって来るイベントを企画。開催にあたって温泉の運搬、容器の用意、保健所の対応等連携しながら進めました。



小学校×自治会×まちづくり会社

### 「まちづくりアイデアの実践」

地元の小学校と連携し、小学3年生が草薙のまちのためにできることを考え実践する授業を約半年間に渡り実施。開催までには4つの周辺自治会に連携いただきました。



草薙商店会×地元団体

### 「PV動画撮影に約250名参加」

商店会通りの改修を前向きに進んでいくために、行政・企業・学校・地元の様々な人が参加してプロモーション動画を撮影しました。